

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 温暖化対策課  
 担当名: 計画制度・排出量取引担当  
 内線: 3021 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B6	暑さ対策省エネ設備導入支援事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	事業活動地球温暖化対策費	
事業期間	令和元年度～	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 埼玉県地球温暖化対策推進条例		宣言項目	10	新たなエネルギー社会の構築		
					分野施策	051142	環境に優しい社会づくり		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>建物の屋根や外壁のコンクリート等が「蓄熱する」、断熱性が低い窓から「熱が入る」ことで空調負荷が増え、エネルギー使用量が増加するとともに空調からの排熱が街の暑さを助長している。</p> <p>そのため、中小企業等が導入する断熱、遮熱対策に要する費用を一部助成し、省エネ(省CO2)及び排熱対策を促進する。また、多くの中小企業に波及するよう、モデルを選定しエネルギー削減量に加え環境科学国際センター協力の下に温度変化を検証し、情報発信をする。</p> <p>(1) 暑さ対策省エネ設備導入支援事業費 △11,716千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 暑さ対策省エネ設備導入支援事業費 50,472千円 → 38,756千円 資金面に課題がある中小企業等が行う断熱、遮熱対策にかかる費用の一部を助成するとともに、水平展開を図るため、モデルを選定し、環境科学国際センター協力の下、温度変化等を検証する。 省エネルギー化(CO2排出量削減)を推進する。 (7) 補助対象事業 Low-eガラス、断熱塗装等 (4) 補助率等 補助対象経費の3分の1以内、上限額 3,000千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 暑さ対策及びCO2排出削減の取組の遅れている中小企業等に助成する。 イ 補助事業実施によるエネルギー削減効果を検証する。 ウ そのうち、モデルを選定し、事業実施前、実施後に環境科学国際センター協力の下、温度変化等を検証する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 中小企業の暑さ対策を進めることで、空調機器負荷軽減(省エネ=コスト減)によるCO2排出量の軽減、さらには、排熱の抑制によるヒートアイランド対策につなげていく。 イ また、エネルギー削減効果に加え、暑さ対策に対する県が効果検証した結果を発信することで、これまで省エネに関心が低い新たな事業者にPRできる。</p> <p>(4) その他 環境科学国際センター協力の下に温度変化等を検証することで信頼できるデータを提供する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 補助金申請額が当初見込みを下回ったことによる減額 △11,570千円 イ 経費節減による減額 △146千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県1/3) 事業者2/3、(県1/6) (国1/3) 事業者1/2									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算根拠) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△11,716							△11,716	38,756
現計額	50,472							50,472	